

令和5年度「青森市民美術展示館」に係るモニタリング評価結果（第2回）

青森市民美術展示館については、一般財団法人青森市文化観光振興財団が指定管理者として施設の管理運営を行っています。

指定管理者からのヒアリング内容及び実地調査等に基づき、指定管理者による施設の管理運営状況について確認し、下記のとおり評価しました。

評価実施日 令和6年1月9日

施設名	青森市民美術展示館
設置目的	市民に美術作品の展示及び鑑賞の機会を提供し、もって芸術・文化の普及振興を図ることを目的とする。
所在地	青森市新町2丁目7番1号
指定管理者	【名称】一般財団法人青森市文化観光振興財団 【代表者】理事長 木村 文人 【住所】青森市雲谷字梨の木63番地
指定期間	令和5年4月1日 から 令和6年3月31日まで（1年間）

評価項目		実施内容	評価結果	
			適正	要改善
管理について	サービスの質を落とさない効率的な業務員の配置となっているか。	業務員の配置については、施設の受付等管理業務に必要な人員を配置し、繁忙期には他施設の応援も受けて対応するなど、効率的な人員配置を行っている。	○	
	業務員の研修が行われているか。	職員研修計画に基づき、接遇研修及び救助研修などを実施している。	○	
	各種保守点検・管理業務が適切に行われているか。	設備等の保守点検や定期的な施設の見回りにより、不具合箇所について直ちに対策を講じている。	○	
	防犯、防災、緊急時に迅速かつ的確な対応を行えるように備えているか。	危機管理マニュアルを作成し、職員へ周知徹底を図るとともに、定期的に防災訓練を実施するなど、緊急時の対応の備えが十分になされている。	○	
	個人情報の保護について適切な対応が行われているか。	個人情報保護規程に基づき、事務室の鍵付キャビネットに書類を保管し、データのパスワード処理、端末の持ち出し禁止など、個人情報の取扱いには細心の注意を払っている。	○	
運営について	環境保全の推進及び環境負荷の低減に努めているか。	環境方針を定め、環境管理マニュアルを作成し、職員へ周知徹底を図り、省資源に努めるとともに、施設利用者に対しても省資源に対する理解と協力を求めている。	○	
	市民の平等利用が確保されているか。	原則、先着順で利用申込みを受けているが、利用希望者が複数の場合は抽選により利用者を決定するように配慮するなど平等・公平性の確保に努めている。	○	
	利用者の要望、意見を把握し、運営に反映しているか。	意見箱の設置や事業毎のアンケートの実施により寄せられた意見は全職員に閲覧し、改善点の意識共有を図っている。施設や設備の不具合に関する指摘については、直ちに現場確認後、対策を講じている。	○	
	積極的に地域や関係団体と連携を図っているか。	青森市文化団体協議会など、各種文化団体と連携して、市民文化祭などのさまざまな文化事業を開催している。	○	
	利用率向上に努めているか。	2ヶ月先までの催物案内や1年先までの施設利用予定状況をホームページで公開するとともに、貸し施設が空いている時には、自主事業を開催するなど、利用率向上に努めている。	○	

【総合評価】

- 管理状況については、効率的な人員配置を行っており、各種保守点検、管理業務についても適切に行われている。
- 運営状況については、市民の平等利用の確保、利用者の意見要望の把握と反映に努めている。
- 利用状況については、利用者が着実に回復しており、ネーミングライツスポンサーと連携して各月の催事紹介をラジオで行ったり、指定管理者ホームページで施設利用予定状況を公開するなど、利用率向上に努めている。
- 事業状況については、計画通り実施されている。
- 施設利用者に対しては、移設先となる施設の情報提供も含め、適切に対応している。

【改善が必要な項目についての指導等及び改善策】

【担当課】 青森市教育委員会事務局文化学習活動推進課
【電 話】 017-718-1432（直通）
【メール】 bunkagakushu@city.aomori.aomori.jp